

ふれあい通信

2023/1/5 第14号 (一社) 熊本県労働者福祉協議会

恭賀新年

2023年皆様におかれまして、佳い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。
また、日頃から県労福協の活動にご支援・ご協力いただき感謝申し上げます。

昨年末から新型コロナウイルス感染症の拡大により、帰省や旅行もしないという方も
沢山いらっしゃったのではないのでしょうか。ここ数年（コロナの影響でしょうか？）お
せちのチラシ・CMが非常に目につくような気がしていましたが、家で新年をお迎えに
なる人が増えてきたということでしょうか。

今年は卯年 うさぎは穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」。また、
その跳躍する姿から「飛躍」・「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。
他にも「植物の成長」という意味もあるようで、新しいことに挑戦するのに最適な年
と言われています。皆さんも是非今年は、何かにチャレンジしてみても如何でしょう
か。

今回は、友田理事長からの新年の挨拶、そして、ひと言コーナーは自治労熊本県本
部 木村執行委員長から多忙な中寄稿いただきました。連年にわたる定員削減等の困
難を抱えながらも、住民サービスを第一に日々組合員の方は頑張っておられます。是
非ご一読いただき、公務を取り巻く環境を共有していただけたらと思います。

【1】友田理事長から新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで穏やかな新年をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。日頃より、労働者福祉運動の前進に向けた取り組みとともに、
福祉事業団体の事業推進に対するご理解・ご協力に厚く御礼申し上げます。

さて、熊本県労福協では昨秋より年末にかけ、「今こそ、労福協の力を。」を合言葉
に「2022 全国福祉強化キャンペーン」の取り組み、とりわけ、利用促進・共助拡大へ
の協力要請を各加盟労働団体への訪問等を通じ、実施してきたところです。

また、奨学金返済問題については、中央労福協が作成した「もう悩まないで！奨学金返済 Q&A」ガイドブックを県内の大学・短大・高専・専門学校など、17 の教育機関の窓口に設置していただくこととなりました。悩み解決の一助となればと思います。（その他、九州労金、こくみん共済 coop、秋津レークタウンクリニック、県労館に設置）

コロナ禍の収束の兆しが見えない中、現在でも多くの組合員とそこご家族は不安を抱えながら生活を送られています。また、社会的に弱い立場にいる多くの方々が、コロナ禍により休業・生活困窮・住居喪失などの困難を抱えるなど大きな影響を受けています。こうした状況も踏まえ、協同組合や労働者福祉事業の意義や役割、そして労働組合と労働者福祉事業団体は「業者とお客さま」の関係ではなく、「ともに運動する主体」であることをお互いに再認識し、運動を前進させていく必要があります。引き続きましての、ご理解とご支援をお願いいたします。

「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」の実現に向けて、ともに取り組んでまいりましょう。

皆さんにとりまして、実り多き一年となりますよう心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

【2】ひと言コーナー

自治労熊本県本部の木村です。

私たち自治労は、全国の県庁、市役所、町村役場、一部事務組合などの地方自治体で働く職員をはじめ、福祉・医療に関わる民間労働者や公共交通に関わる労働者など公共サービスに関連する組合が結集する労働組合です。県内 80 単組、約 13,000 人の組合員（2022 年 6 月時点）が加入しています。

私たちは、質の高い住民サービスが提供できる環境を創造できるよう、「組合員の生活水準を向上させ労働者の権利を守る」「やりがいのある仕事ができるように」「社会正義を実現すること」「労働者の自主福祉運動の実践」という 4 つの目標を掲げ運動に取り組んでいます。

熊本県本部におきましても「組合活動の原点への回帰」「持続可能な組織体制の回復」「公共サービスの復権」といった重点課題の解決にむけて、「一歩前に入る運動」を推進しています。

また、実際に携わっている業務を通じて、情報収集、研究分析、政策づくりを提言しています。具体例としては、現在多くの自治体で実施している「ごみの分別収集」や「急病人の休日・夜間診療」は、私たちの提言から実現した制度です。

これからも、地域公共サービスを守り、「共生と連帯に基づく持続可能な社会」を実現するため、様々な活動に取り組んでまいります。



県本部大会



ユース部独自企画「沖縄平和の旅」



女性部学習会

【2】中央労福協活動コーナー

《継続でご案内いたします》

生活・就労応援基金（ろうふくエール基金）について改めてお知らせいたします。身近なところで、コロナ禍で苦しむ方々を支援している団体等に是非ご紹介ください。

基金の目的

基金を呼び水として、地方労福協が軸となり労働組合・協同組合・市民団体等とともに、コロナ禍で苦しむ人たちに対する生活・就労支援活動を地域で促進することを後押しする。この取り組みを通じ、組合員・市民の共感を広げ、労働者福祉運動の役割発揮につなげる。

■就労支援、職業訓練、雇用創出、居住支援などの事業への助成

熊本県労福協が対応できるものは以下の支援Bです。

・支援対象B

その他、コロナ禍に対する生活や就労の支援を目的として、地方労福協が実施もしくは関与する事業や活動。

例えば、各地域で事業団体が行う学生生活支援・フードバンク事業・子ども食堂事業等との連携、民間団体・NPO等が行う困窮家庭等への支援活動との連携など。

- ・「関与する」とは、一緒に活動すること、事業・活動に共感し寄付を集めること、事業・活動を応援、推薦、紹介すること等を含む。
- ・コロナ禍対応に特化した事業・活動だけではなく、就労支援、職業訓練、雇用創出、居住支援などを行うなかでコロナ禍対応を行っている事業・活動も対象となる。

・助成額

1 団体の助成上限額 **支援対象B 20万円**

【3】南部労福協活動コーナー

1. 第5回南部ブロック幹事会

- (1) 日 時 2023年1月19日(木) 14時30分
- (2) 場 所 九州労働金庫宮崎県本部3階 第3会議室
- (3) 議 題

- ①2022年度財政収支状況並びに2023年度財政立案について
- ②2023年度定期総会の運営について
- ③2023年度定期総会議案について
- ④その他

2. 2023年度南部ブロック定期総会

- (1) 日 時 2023年2月17日(金)
- (2) 場 所 鹿児島サンロイヤルテル

■熊本県労福協から代議員3名選出することとなっています。

■2023年度、2024年度は熊本県労福協が南部ブロックの事務局を担います。

【4】県労福協活動コーナー

1. 2022全国福祉強化キャンペーンの取組として産別訪問を実施しました。

労働者自主福祉運動の取組強化（利用促進・共助拡大）、労働者自主福祉運動の担い手育成を連合熊本全会員産別に対して要請を行いました。

- ①日 時 2022年12月15日(木)、19日(月) 2日間
- ②事業団体対応者 九州労金熊本県本部 峯潔本部長
こくみん共済coop 園田海舟本部長
ユニオントラベル熊本 安本浩志郎理事長
県労福協 浦本

③要請産別 19産別（13産別には要請文を送付）

2. 2023 年度役員選考委員会

日時 2023 年 1 月 23 日（月）13 時 30 分～

3. 2022 年度第 1 回連合・福祉事業団体・労福協連絡会議

日時 2023 年 1 月 23 日（月）16 時 30 分～

【5】雑学（トリビア）コーナー

今年も、箱根駅伝は手に汗握るドラマがありました。今回は、その駅伝についてご紹介します。

数人が長距離をリレー形式で走る「駅伝競走（駅伝）」は、日本最大の引越しがきっかけで誕生した。その引越しは明治時代に行われたもので、日本の歴史上で最も豪華な引越しだった。**日本で最初に行われた「駅伝」は 1917 年（大正 6 年）のことであり、京都から東京までの約 508km という長い距離だった。**現在の箱根駅伝は往路・復路の合計で 10 区間約 217km であり、その 2 倍以上の距離を 1 チーム延べ 23 人でたすきをつなぐという過酷なものだった。

そんな**過酷な駅伝が誕生したきっかけは、明治天皇のお引越し**であった。明治維新により 1868 年（明治元年）に日本の首都は京都から東京に移され、この時に明治天皇のお住まいも京都御所から江戸城に移った。これを「東京奠都（とうきょうてんと）」といい、数千人と共に京都から東京まで向かい、沿道の民衆に金品を配るなど華々しく行われた。

そんな東京奠都の 50 周年を記念して行われたのが、**日本初の駅伝とされる「東海道駅伝徒歩競走」**であった。この駅伝は関東組と関西組の 2 チームに分かれ、1917 年（大正 6 年）4 月 27 日に京都・三条大橋をスタートした。昼夜を問わず東海道を走り続け、最終ランナーが東京・上野不忍池のゴールに到着したのは 2 日後のことだった。

この時、**先着の関東組のアンカーとしてゴールしたのは金栗四三（かなくり しそう 1891～1983 年）**だった。金栗は「日本マラソンの父」とも称され、この駅伝の 3 年後の 1920 年（大正 9 年）に開催された第 1 回「東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）」の大会開催に尽力した人物である。

このように「駅伝」が誕生したきっかけは明治天皇のお引越しであった。ちなみに、初めての駅伝における**スタート地点の三条大橋とゴール地点の不忍池のほとりに、それぞれ「駅伝発祥の地」の碑**が建てられている。また、駅伝が開催された日付に由来して 4 月 27 日は「駅伝誕生の日」という記念日になっている。

出典：雑学ネタ帳

【6】福祉事業団体の活動

以下の URL からご覧ください。

(1) 九州労働金庫熊本県本部

<https://kyusyu-rokin.com>

(2) こくみん共済 coop 熊本推進本部

<https://www.zenrosai.coop/contact/zenkoku/kumamoto.html>

(3) ユニオントラベル熊本

<http://unitora.com/>

(4) 秋津レークタウンクリニック

<https://akitsu-laketown.jimdofree.com/>

(5) ライフサポートセンターくまもと

<http://blog.rofuku.net/kumamoto-lsc/>

福祉のことなら何でもご相談ください。あなたの悩みに応えます。事業団体・産別の専門家が、労働問題他、福祉全般に亘って相談に応じます。

(6) 熊本県労働者福祉会館

<http://www.roukan.org/>

いつでも、だれでも利用できる会議室があります。会議、研修、講習会などのご利用お待ちしております。

【7】事務局からひと言

■ 増税のオンパレード

防衛費増額で5年後の2027年度以降毎年不足する1兆円余りの財源を賄う増税策をめぐり、自民党の税制調査会は昨年12月15日、法人税、所得税、たばこ税の3つを組み合わせる案が了承されました。党内の反発（統一自治体選挙前に増税論議等もっての外という議員であり、真に国民生活を憂う輩の反発ではありません。）に配慮し、増税の具体的な実施時期などは来年改めて議論するという事です。「復興特別所得税」の延長も実施されるようですが、国民に対しての丁寧な説明はされておらず、ただ「今を生きる国民がそれを背負うべき」と・・・因みに増額される防衛費は国民一人あたり46,000円の負担増になります。

また、政府は敵のミサイル発射基地などを攻撃する反撃能力の保有などを記した安全保障関連3文書（「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」）の改定を16日に閣議決定しました。日本に対する武力攻撃が発生した際、必要最小限度の自衛措置として敵のミサイル発射基地などを攻撃する「反撃能力」の保有が盛り込まれたものです。日米共同で抑止力や対処力の強化をしていくことなども記されています。これもまた、国会閉会後の閣議決定であり、あの安保法制改悪の時と同様の手法です。

さらには、相続税・贈与税の課税強化、退職金課税強化も考えられているようですし、消費税も10年程度は上げることは考えていないとした岸田首相ですが、その公約も反故にされるのではないかと危惧されています。

こんな世の中に誰がしたのでしょうか。国会議員の政治と金、旧統一協会問題、東京オリンピックの疑惑、首相自らの政治資金規正法違反(?)の疑惑については何れもトーンダウンしたように感じますが・・・

今の世の中、余りにも二極化してしまったように感じます。格差の拡大が著しく、特にコロナ禍で社会の脆弱さもあらわになっています。安全保障関連3文書の改定による防衛費の

増額よりも、弱者に寄り添う思いやりのある税の使い道があるのではないのでしょうか。アメリカ追随して防衛力を拡大することよりもまずは、疲弊した国内の現状に目を向けてほしいものですが、首相の去年の漢字は「進」だったようですが、みなさんはどう解釈されますか？「聞く力」「岸田ノート」とは・・・？

■ TSMC 熊本進出について

TSMC の熊本進出による経済波及効果は、相当なものだとの報道がされています。ソニーとタイアップしての進出です。ソニーはスマートフォンや車載向けの画像センサーで世界一のシェアを誇りますが、半導体は他社に依存している状況ですから、大きなメリットとなるでしょう。

何故、TSMC は熊本に進出したのか、それは「水資源」が豊富だという説が大勢をしめているようです。一日約 20 万トン（2 億リットル）の水を取水するとされています。家庭の浴槽が 200 リットルとして 100 万世帯 水道代が 200 円 25 円として 2,500 万円になる換算です。熊本市の 1 人 1 日あたりの生活用水使用量 210 リットルを目標としていますので、ほぼほぼ同程度の取水量となります。

「水の都」熊本は、県下の生活用水の 8 割が地下水で、特に熊本地域（熊本市、菊池市の旧泗水町と旧旭志村の区域、宇土市、合志市、大津町、菊陽町、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町の 11 市町村からなる地域）は、ほとんど地下水に依存しています。他県の旅行者も「熊本の水はおいしい」と言われます。後世に引き継がれていくべき財産といっても過言ではありません。豊富な地下水も近年水位の低下が指摘されていますが、今後 TSMC の進出から熊本の誇るべき財産が・・・どうなるのか非常に心配です。

その一方、TSMC 進出の影響で地価指数は過去最高とのこと。

■ 食品値上げの収束は・・・2023 年 年明け以降も冷凍食品や調味料などの値上げが実施されるようです。ティッシュペーパー等 20%以上、家庭用冷凍食品も 2%~25%、オリーブオイル、ごま油が 5%~47%、極めつけは、4 月から電力会社の値上げが、平均 28.08~45.84%の申請がされているとのこと。急激な円安や原油高は小康状態ですが、人件費や物流費の上昇もありいつ収束するかわからない状況です。

要は、私たち労働者が、物価上昇率に見合う賃上げを確保できるかが今春闘の動向にかかっています。5%をなんとか・・・労働界そして、国民の強い願いです。団結して頑張ろう!!



■ ひとり親世帯年収・・・2022 年 12 月 27 日の地方紙に掲載されていましたが、厚労省の実態調査結果、母子家庭で 272 万円、父子家庭で 518 万円とのこと。5 年前に比べていずれも増加したものの、父子家庭では、98 万円増、母子家庭では、29 万円の増加にとどま

ったとのことです。母子家庭の厳しい経済状況が明らかになりました。また、雇用形態は正規職員は母子世帯で48.8%、父子世帯で69.9%となっています。ここにも、まだまだ男女間の格差が・・・

同じ紙面で、東京オリンピック・パラリンピックを巡る汚職事件で4回にわたり、起訴された組織委員会の元理事が8,000万円の保釈保証金を現金で納付したとの記事を目にしたとき、現金で即日納付できるのかとびっくりした反面、余りにも日本はおかしくなっていると感じずにはいられません。

《県労福協からのお知らせ》

- 「借りてる方も これからかりる方も もう悩まないで奨学金返済 Q&A」
中央労福協が標記の冊子を発行しました。返済に困っているあなたへ法律のプロが寄り添って解説している冊子になっています。是非読んでみたいという方は、県労福協にご連絡ください。また、中央労福協HPからダウンロードできます。サイトがわからない場合も、県労福協にご連絡ください。

いまこそ 労福協の力を

「持続可能な社会をめざして」「誰ひとり取り残さない社会をめざして」そのような
思いでふれあい通信を継続していくことができれば・・・

ご意見、ご要望をお聞かせください。

一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会

〒862-0976

熊本県熊本市中央区九品寺1丁目17-9

TEL 096-375-6029 FAX 096-375-6030

E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp